



『まえだとし女 全句』

まえだとし女

夕入の親水公園水母くる
甘酒の我のうつはへ雀かな
赤紫蘇が元気でかげりなき空地

紅の花優先席を離れけり
鈴蘭よ車庫をタクシー出るところ
漁協前女子ら円座の星月夜
前任の仙台からとふ月下美人
盆休故人も我らも水の上
夏風邪でめばるを二十まで数ふ
炎天下おらが井とは謎めく名
路分けて喧嘩の児あかぎらや夏の雨
はたはたと雨の藜あかぎやこともなく
夏の雨あかぎどくだみあかぎかな
アイボリーに乾く魚の目夏怒濤

『まえだとし女 全句』

